



# TODAY

2000年9月号  
品川区議会議員  
辻 幸雄  
03-3779-5975  
y-tsuji@st.rim.or.jp  
www.st.rim.or.jp/~y-tsuji

## 辻ゆきお区議会レポート

### 参院選・東京選挙区に山口なつお氏！

公明党東京都本部は、8月28日議員夏期研修会を開催し、来年夏の参院選、東京都議選の勝利に向けスタートしました。

研修会に出席した神崎武法代表は、12年ぶりに参院選と都議選を同時期に迎える首都・東京の戦いについて「全国の中でも東京が主戦場になる戦いだ。東京が勝たなければ全国の勝利はあり得ない」と強調し、全議員の奮起を強く要望しました。

その上で「先ず参院選比例区の大

きな戦いに軸足を置いて全体の底上げを図り、選挙区の勝利も勝ち取っていきたい」とし、議員は「地域を徹底して回り、参院選、都議選勝利への大きな渦をつくっていただきたい」と訴えました。

また、東京選挙区から立候補を予定している山口なつお氏（写真）から、力強い決意の表明がありました。

党都本部副代表。衆議院議員当選2回。東京大学法学部卒。弁護士。48歳。



### 都議選に中山秀雄議員(品川区・現)が挑戦

公明党は、来年夏に予定されている東京都議選に新人5人を含む23名を公認しました。(9月現在)

新人の予定候補者は、足立区で友利春久氏、葛飾区で野上純子さん、八王子市で東村邦浩氏、町田市で小磯善彦氏、北多摩1区で谷村孝彦氏の5名で、野上さんは女性候補として初挑戦となります。

品川区選出の中山秀雄議員(写真)は、5期目の挑戦となりますが、現在の定数5は、定数改正で、定数4

になることがほぼ確実視されており、激戦が予想されています。

今東京都は財政的に大変厳しい状況にあり、財政再建、さらに新しい行政需要に対応するための都市再建など様々な課題に直面しており、都政の中核としての公明党の躍進、そして都議会公明党幹事長の中山秀雄議員の活躍が強く望まれています。

党都本部副幹事長、同広報宣伝局長。都議4期。都議会公明党幹事長。日大卒。57歳。



### 品川総支部が、伊豆諸島災害救援募金を実施！



公明党品川総支部は、伊豆諸島の災害救済のための募金運動(7月31日、9月3、9、10日)を行い、寄せられた義援金を被災自治体に届けました。

「島外避難」で、避難生活を続ける方のうち、品川区内の公団や区民住宅などの公共住宅に住まわれている方は36世帯。また、高齢者施設に入所された方は5名となっております。(いずれも9月13日現在)

これら被災者の方の安定した避難生活、そして、一日も早い復興のため、公明党は全力をあげてまいります。

## 来春から中学校の通学区域弾力化を実施

中学新1年生を対象に希望申請を受付(10月31日まで)

今年4月から実施された小学校の通学区域の弾力化に引き続き、中学校の新1年生を対象に入学する中学校を選択することができることになりました。小学校では、区内の小学校を4つのブロックに分けての実施でしたが、中学校は区内全18校の中から希望する学校を選ぶことができます。

義務教育の小・中学校の通学区域は教

育委員会で決められることになっていますが、現行の制度では、住所により通学する学校が指定され、児童生徒や保護者の希望で指定以外の学校への通学は、一部特殊な理由がなければできませんでした。

平成9年に文部省は「通学区域制度の弾力的運用について」の通知を出し、東京都教育委員会も、「通学区域制度の

弾力的運用に努めるよう」区市教育委員会に求めています。

実施のスケジュールとして、9月20日から10月31日まで、中学校の入学希望申請が受け付けられ、各学校40名(戸越台中は30名)の受入れ枠を設けていますが、場合によっては抽選(11月21日)になります。希望学校の決定は年内に就学通知書が発送されます。

品川区では、少子化、国際化、情報化などの社会の変化に対応するため、「品川の教育改革「プラン21」」を策定し、特色ある学校づくりをすすめています。(問合せ：学務課 5742-6828)

## 品川区議会第3回定例会

品川区議会の第3回定例会が、9月21日から10月20日の日程で開会されています。今回の定例会では、平成11年度決算審査や平成12年度の補正予算案が審議されます。

一般質問には区議会公明党を代表して嶋 邦子議員と藤田二郎議員が質問に立ちました。



嶋議員の質問項目は、品川区の防災行動力の向上と地域防災対策の充実 公園等におけるチャドクガなど衛生害虫の駆除 八潮団地の地域特性を踏まえた生活利便な街づくり 高次脳機能障害者の実態と公的支援。



藤田議員の質問項目は、資源を大切にする品川づくり タウンモビリティの導入 IT(情報技術)の技能習得と拠点作り 天ぷら油などの廃食油の燃料化 福祉機器のリサイクル。

## 公明党の主張が反映した来年度予算概算要求



公明党が連立政権に参加して1年になりました。来年度(2001年度)の予算編成の準備が進められていますが、公明党はこの作業に積極的に加わり、生活者の視点に立った「安心の社会」の実現に向け、わが党の主張が反映された概算要求となりました。(予算は、今後政府案の決定、来年の通常国会での審議を経て決定します。)

### 福祉・医療

- アレルギー研究センターを設置
- 高次脳機能障害対策に本格着手
- アレルギー対策
- 高次脳機能障害対策
- 総合的な子育て支援
- 介護基盤の整備
- 医療の充実
- 児童虐待防止対策
- さい帯血バンクネットワーク

### 教育

- スクールカウンセラー 全公立中学校に配置
- 心の教育の充実
- 奨学金制度を拡充
- 教育の情報化
- 小人数学級の実現へ前進
- アメラジアン支援
- 私立学校経営費補助金の拡充
- 空き教室での「地域ふれあい交流事業」
- 薬物乱用防止教育の充実

### 住宅・交通・防災

- 駅周辺をバリアフリー化
- 安心の街づくり
- 交通渋滞の解消
- 住宅取得の促進
- 防災、復旧対策
- 人権
  - 法律扶助さらに拡充へ
  - DV対策も前進
  - 民事法律扶助の補助金拡充
  - 名誉毀損・プライバシー侵害対策
  - 刑罰問題調査
  - DV防止対策
  - 犯罪被害者給付制度の拡充
  - 司法通訳制度の調査
- 雇用
  - ファミリーサポートセンターを拡充し仕事・育児の両立支援
  - 仕事と育児の両立支援
  - IT化対策
  - 若年者雇用支援

### 情報化

- 電子政府の推進
  - 情報格差解消にも力点
  - 電子政府
  - デジタル・デバイド対策
  - 情報通信基盤の整備
  - ICカードシステムの普及促進
- 環境
  - 循環型社会への構造改革
  - 循環型社会への構造改革
  - 地球環境対策の強化
  - ディーゼル車対策
  - 有害化学物質対策の強化
- 産業活性化
  - 特別貸付制度の創設など
  - 中小企業のIT化支援
  - IT経済改革の推進
  - 中小企業へのIT導入
  - 中小・ベンチャー企業支援
  - 農林水産業の振興
  - ものづくりとITとの融合化促進